

訪問看護人材確保に関するアンケート 結果報告

令和3年3月20日（土・祝）

令和2年度訪問看護に関する報告会

訪問看護ネットワークセンター 安井 千明

訪問看護ステーション管理者を対象に実施

①プラチナナース雇用と活用に関するアンケート

- 実施時期：令和2年8月
- 調査対象：79事業所（回収率：100%）
- 回答者：ステーション管理者

②新卒看護師の採用と育成に関するアンケート

- 実施時期：令和2年8月
- 調査対象：79事業所（回収率：100%）
- 回答者：ステーション管理者

① プラチナナース雇用活用に関するアンケート結果より

- プラチナナースを雇用している事業所 47事業所
- プラチナナースに期待すること（重複回答）

知識・技術指導	55
コミュニケーションスキル	49
経験を活かしたリーダーシップ	34

- プラチナナースの活用促進のために必要なこと（重複回答）

退職前のプラチナナースを対象にした訪問看護の就職ガイダンス	40
退職前のプラチナナースを対象にしたステーション見学	38
退職前のプラチナナースを対象にした訪問看護研修（2～3日）	28

②新卒看護師の採用と育成に関するアンケート結果より

- 過去5年に新卒看護師を採用している事業所 3事業所
- 新卒看護師採用の可能性

採用は検討していない	33
採用を検討している	12
採用しない	9

- 新卒看護師を採用するために必要なこと（重複回答）

育成者の確保	50	効果的な新卒看護師育成プログラム	50
外部機関による新卒看護師育成の支援	33	新卒看護師育成事例などの情報	28
新卒看護師同士が交流する機会	22	自事業所の育成環境の整備	20
補助金等の費用面での支援	19		

県内看護教育機関教員を対象に実施

新卒看護師の就職に関するアンケート

- 実施時期：令和2年11～12月
- 調査対象：212名
- 回答者：115名（54.2%）

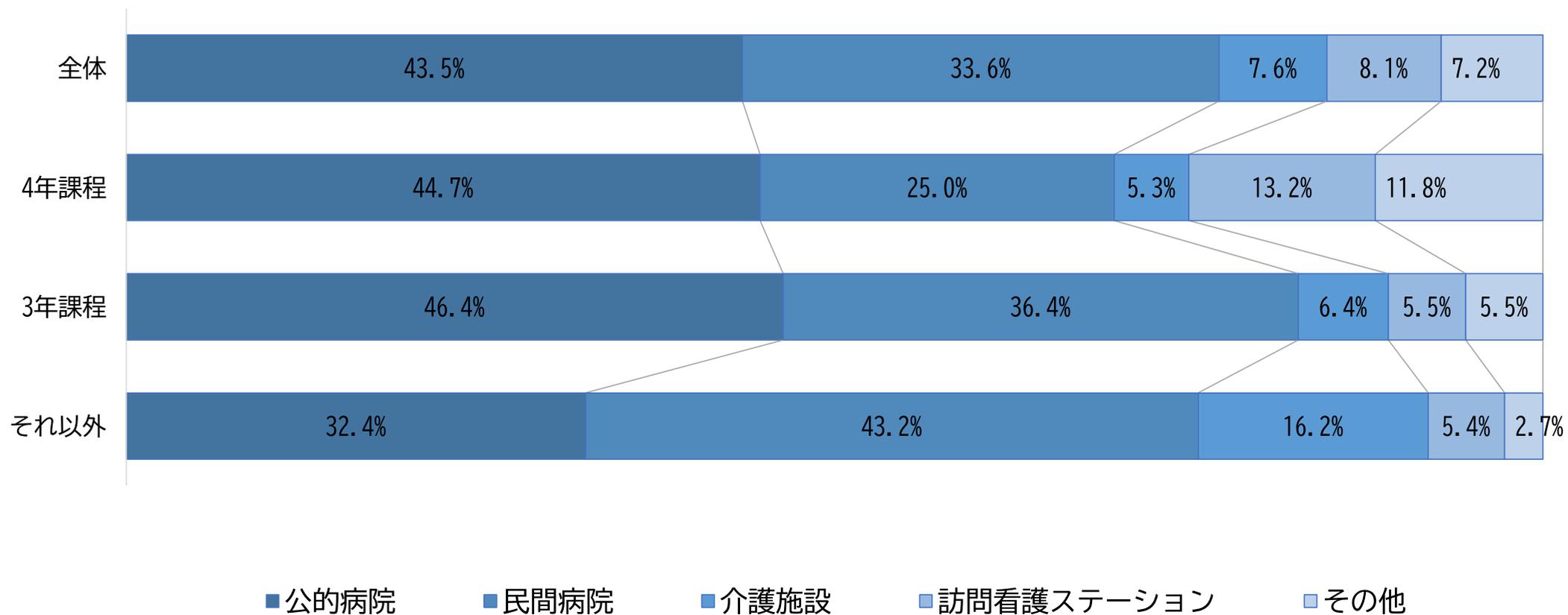
新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

進路指導の際、重視すること（「非常に重視する」が高かった項目）

本人の希望	80.0%
適性	57.4%
教育・研修制度	53.0%
仕事内容	47.0%
将来性	33.0%

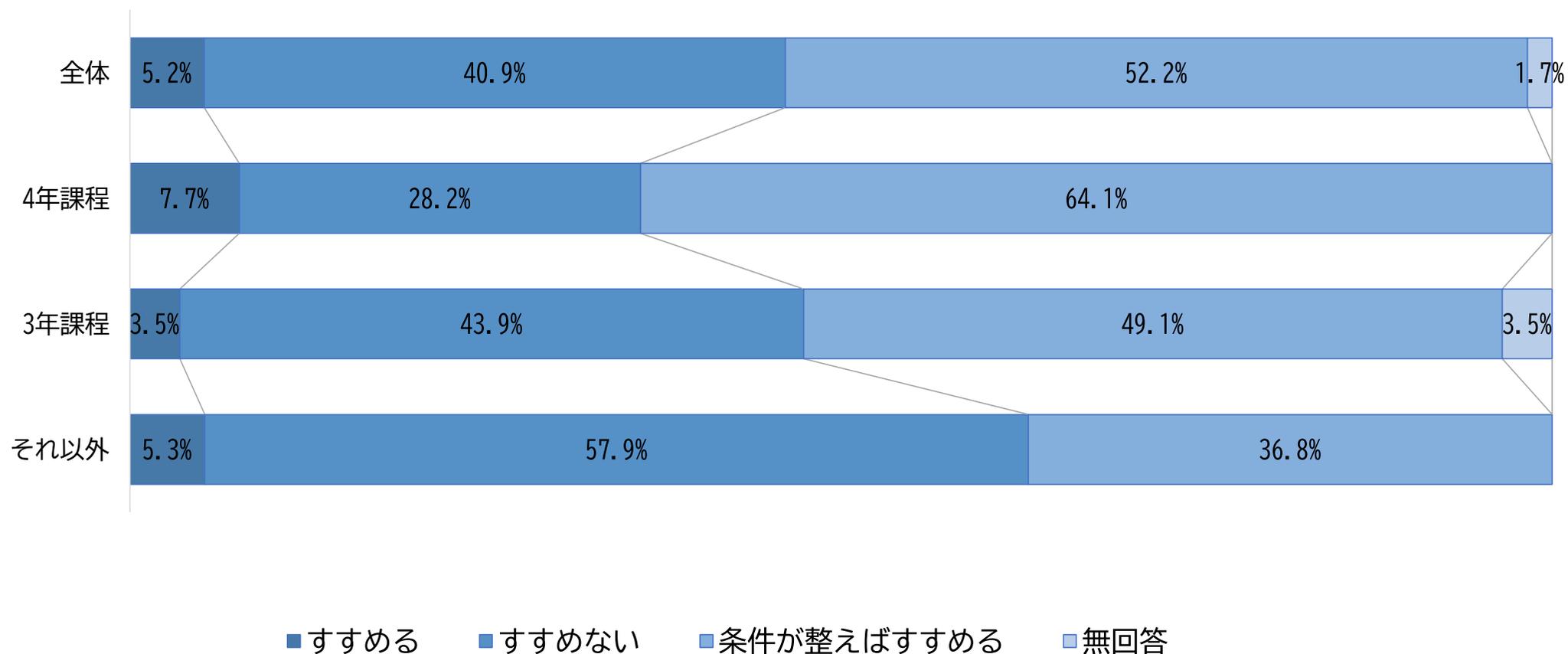
新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

進路指導の際、就職先としてすすめる施設



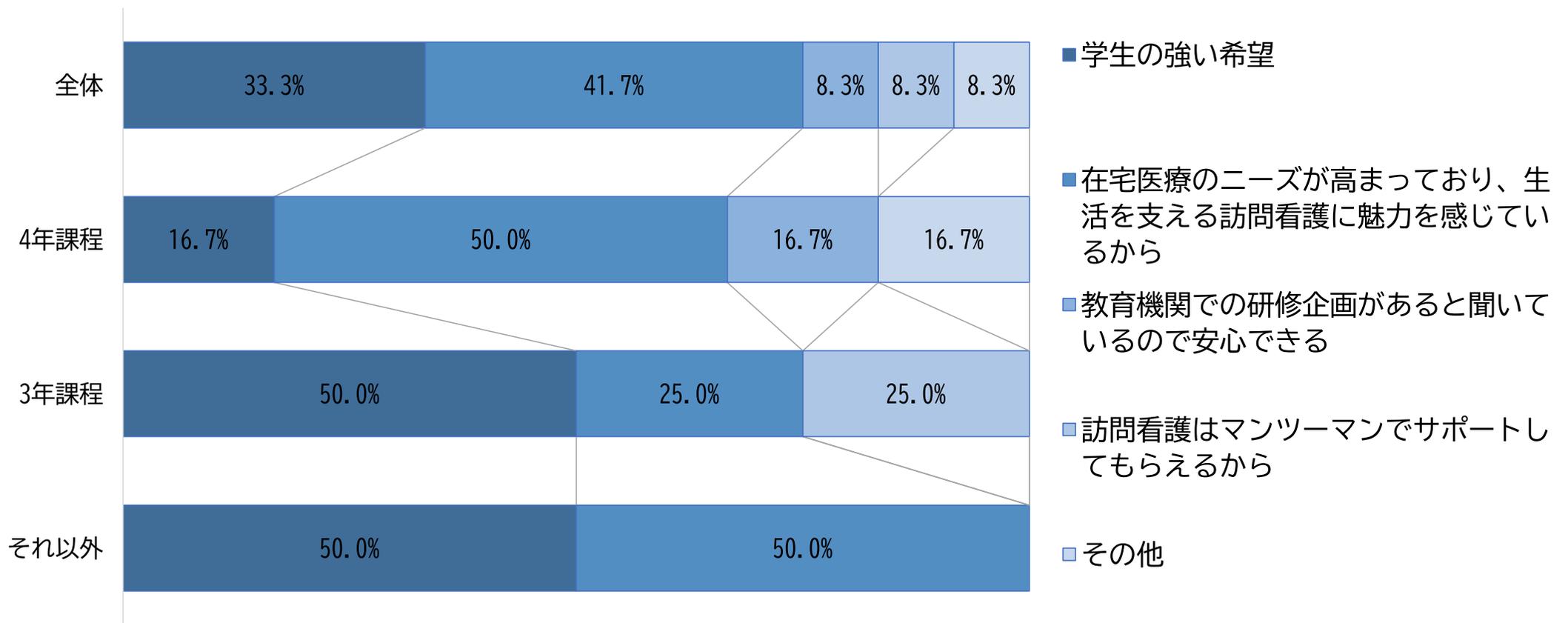
新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

学生に（新卒で）訪問看護事業所の就職をすすめるか



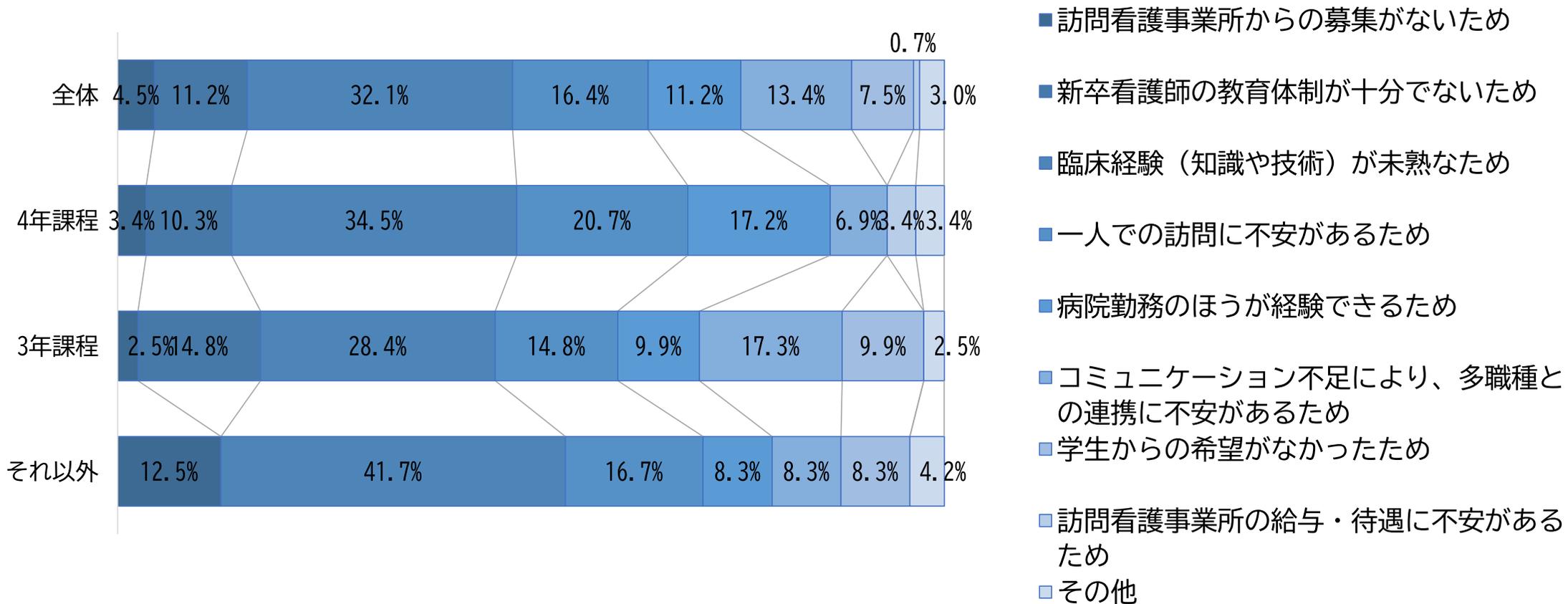
新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

訪問看護事業所への就職を進める理由 n = 6



新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

訪問看護事業所への就職をすすめない理由



新卒看護師の就職に関するアンケート結果より

学生に訪問看護事業所への就職をすすめるために必要な環境整備



新卒看護師の就職に関するアンケートまとめ

ロジスティック回帰分析より新卒看護師を訪問看護事業所へすすめるのは、

1. 所属課程別では、3年課程に比べて4年課程は1.94倍である。
2. 年代別では、20代に比べて30代は1.89倍である
3. 在宅領域の経験のある人に比べて経験のない人は0.37倍である。

これらの傾向から、在宅看護を教えていること、知識があること、関心があることなどが、訪問看護事業所へ就職をすすめる要因となると考えられる